

代表者名	三浦庄助	所管部課名	農林水産部水産漁港課
所在地	男鹿市船川港台島字鶴ノ崎16	設立年月日	平成4年10月16日

【沿革及び県の出捐理由】

栽培漁業の推進に関する事業を行うことにより、水産資源の維持増大及び漁業経営の安定を図り、もって漁業の振興に寄与することを目的に、県等の出捐で平成4年10月に設立した。

【出捐者】（23年度当初）

(千円、%)

区分	団体数	出捐額	構成比
秋田県	1	250,000	49.9
市町村	8	75,000	15.0
その他	5	176,500	35.1
計	14	501,500	100.0

【事業】

①主たる業務

- ・ アワビ、クルマエビ、ヒラメ種苗の生産及び供給（有償）
- ・ マダイ、ヒラメの中間育成・放流（無償）
- ・ ガザミ種苗の斡旋事業

②事業実績

(千尾・千個)

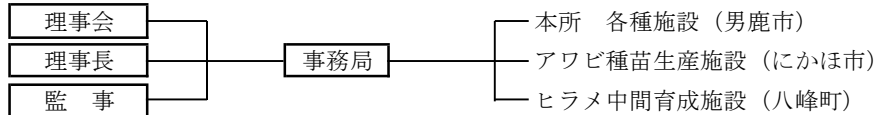
事業名等	20年度	21年度	22年度
アワビ	731	787	720
マダイ	864	828	623
ヒラメ	403	323	312

③22年度事業概要及び23年度事業計画・目標

- ・ 22年度事業において、アワビ種苗生産事業では、21年度に発生した稚貝の壊滅的大量死により供給個数の約4割を県外からの移入によって対応した。その他の事業では、自らの生産事業を順調に行うことができたことにより、計画以上の実績を上げることができた。
- ・ 23年度事業においては、県の第六次栽培漁業基本計画に沿った事業の展開に努め、その目標を達成することにより、引き続き本県の栽培漁業の推進に寄与する。

【組織】

①運営機構



②役員数 (H23. 7. 1現在)

(人)

	理 事	監 事
常勤		
内、県退職者		
内、県職員		
非常勤	10	3
内、県退職者		
内、県職員	2	
計	10	3
内、県関係者	2	

③職員数 (H23. 4. 1時点)

(人)

正職員	3	正職員 平均年齢 49.3歳	正職員 平均勤続年数 11.0年
内、県退職者	1		
出向職員			
内、県職員			
臨時・嘱託	11		
内、県退職者	1	正職員平均年収	
計	14	5,134千円	
内、県関係者	2		

役員報酬支給対象者数	人
役員報酬支給対象者平均年齢	歳
平均役員報酬額	千円/年

【財務】

①損益状況 (22年度)

(千円)

	金 額
経常収入 A	73,952
受託事業収入	10,635
補助金収入	3,913
自主事業収入	49,086
運用益収入	5,537
その他	4,781
経常支出 B	80,600
人件費	38,565
その他	42,035
経常損益 C = A - B	△ 6,648
経常外収入	
経常外支出	
諸税	
当期損益	△ 6,648

②財務状況 (22年度末)

(千円、%)

	金 額	構 成 比
流動資産	83,851	14.0
固定資産	515,511	86.0
資産計	599,362	100.0
流動負債	938	0.2
短期借入金		
固定負債	11,045	1.8
長期借入金		
負債計	11,983	2.0
基本金	501,500	83.7
剰余金	85,879	14.3
正味財産計	587,379	98.0
負債・正味財産計	599,362	100.0

県の損失補償額	県の債務保証額
---------	---------

退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率
	11,045	11,045	100.0%

【県の財政支出】

	20年度	21年度	22年度	支出目的・対象事業概要等
補助金	5,218	3,913	3,913	栽培漁業推進事業補助金
委託費	4,248	5,888	8,985	種苗飼育等業務委託費、栽培漁業推進員設置業務委託費ほか
貸付残高				

1 主な経営指標

項目		単位	20年度	21年度	22年度	20-21増減	21-22増減
健全性	自己資本比率	%	98.25	98.20	98.00	▲ 0.05	▲ 0.20
	借入金依存率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	流動比率	%	5,764.84	5,465.68	8,939.34	▲ 299.16	3,473.66
収益性	剰余金 (▲欠損金)	千円	102,370	92,527	85,879	▲ 9,843	▲ 6,648
	経常利益率	%	3.36	▲ 11.78	▲ 8.99	▲ 15.14	2.79
	総資本利益率	%	0.39	▲ 1.45	▲ 1.11	▲ 1.84	0.34
発展性	経常収入額	千円	70,926	74,632	73,952	3,706	▲ 680
効率性	総資本回転率		0.12	0.12	0.12	0.00	0.00
	職員1人当たり経常収入	千円	5,911	6,219	5,689	308	▲ 530
	人件費比率	%	35.50	48.17	52.15	12.67	3.98

2 経営目標の達成状況

経営目標			20年度	21年度	22年度	23年度
経営改善指標	県委託費 (千円)	目標	18,000	5,000	5,000	5,000
		実績	4,248	5,888	8,985	
事業成果指標	総支出経費 (千円)	目標	83,000	73,000	73,000	73,000
		実績	70,785	83,078	80,002	
事業成果指標	種苗 (アワビ) の提供 (千個)	目標	600	600	600	600
		実績	731	787	720	
事業成果指標	種苗 (クルマエビ) の提供 (千尾)	目標	5,000	5,000	5,000	5,000
		実績	7,159	5,979	5,558	
顧客満足度指数	目標		—	—	—	—
	実績		—	—	—	—

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

アワビ種苗生産事業において、21年度の稚貝の壊滅的大量死の影響により22年度も供給個数の約4割を県外からの移入種苗に依存したため、2年連続して損失となった。

22年6月までに取水施設等の改良を終え、アワビ稚貝大量死の原因である飼育海水環境の改善を図った。その結果、アワビ稚貝は順調な成長を見せていたが、東日本大震災時に斃死した個数が著しく多かったため、23年度内に安定的な生産サイクルを回復させられるかどうかは楽観視できない状況であるものの、万全な飼育管理の下、引き続き生産の安定化に努める。

アワビ種苗生産以外の事業は順調に行うことができ、今後とも更に研鑽に努め、放流効果を向上させるための良質な種苗を低コストで生産し、本県の栽培漁業の推進に寄与する。

4 総合評価 (計算書類等の資料による評価)

I 概ね安定した経営内容	II 一層の努力を要する経営内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ヒラメ種苗の県外売却がなかったこと等により種苗売却収入が減少した。 ・一方、受託事業収入は増加した。これらにより、経常収入は1百万円減少した。 ・アワビ種苗の約4割を県外から購入したため、種苗購入費が高水準となった。 ・経常収支の赤字額は改善したものの、2期連続の経常赤字となった。 <p>＜早期の改善が望まれる事項＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災時の停電により、アワビ稚貝の斃死が発生し、平成23年度の収支も厳しいものと推測されるため、収支改善へ向けたより様々な対策が必要である。 	